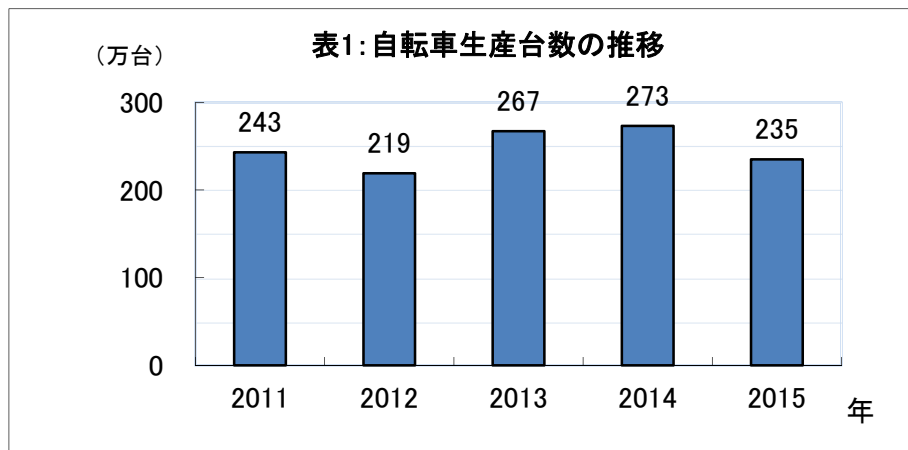


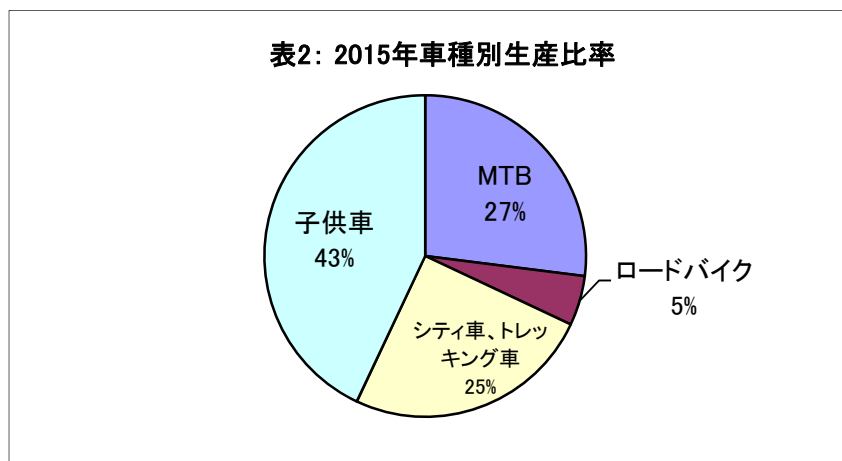
## イタリア自転車市況－2015

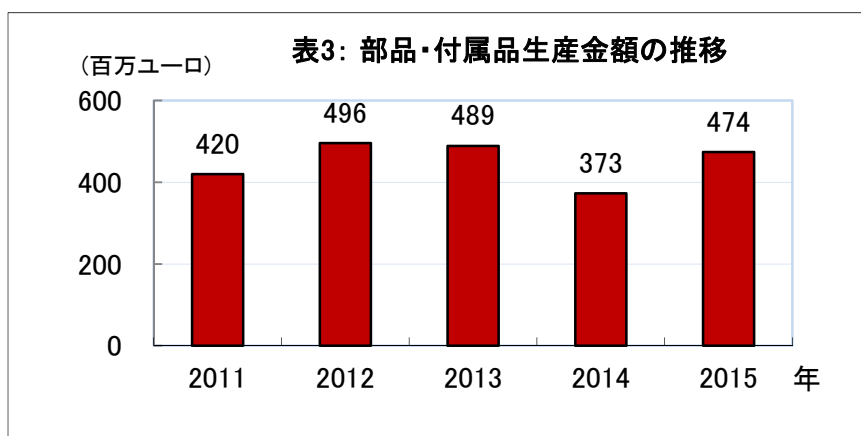
### 1. 生産

欧州債務危機以降、低迷が続いたイタリア自転車市場は、2013年から回復傾向をみせていたが、イタリア二輪車工業会(ANCMA)によると、電動アシスト自転車(EPAC)を除く自転車の2015年の生産台数は、前年比13.9%減の235万台となり再び減少した。2015年の車種別生産比率では、子供車(※幼児車を含む)が最多の生産比率43%、生産台数は100万台となり、次いでマウンテンバイク(MTB)は同比率27%の63万台、シティ車・トレッキング車が25%で59万台及びロードバイクは5%の12万台となり、ここ数年、車種別生産比率に大きな変化はない。なお、2014年に大きく落ち込んだ部品・付属品の生産については、2015年生産金額は前年比27.1%増の474百万ユーロ(545億円)となり、400百万ユーロの大台を回復した。



※上記数値は EPAC を除く





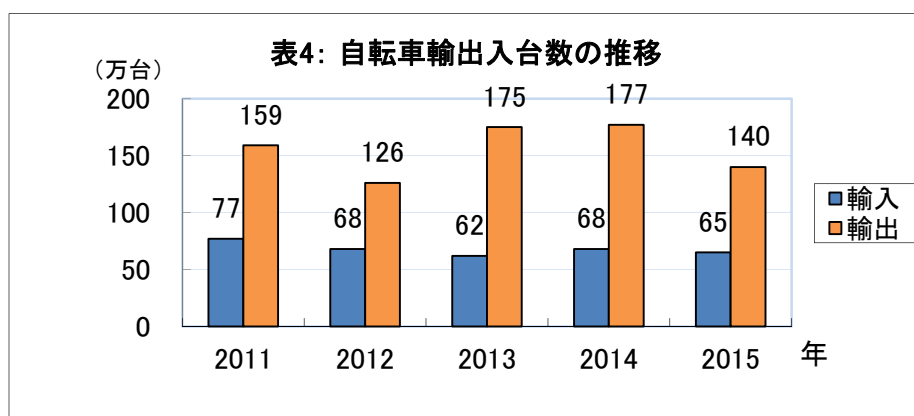
※上記数値は EPAC を除く

また、欧州 15 カ国(※トルコを含む)の自転車産業団体からなる欧州自転車産業連盟 (CONEBI)によると、2015 年の欧州連合 (EU)加盟 28 カ国の自転車生産台数はイタリアが首位であり、同国だけで全体の 18%を占める。自転車部品・付属品の生産金額でも EU28 カ国でイタリアが首位となり、一カ国で全体の 28%に達し、いまだにイタリアは欧州自転車産業の製造拠点である。

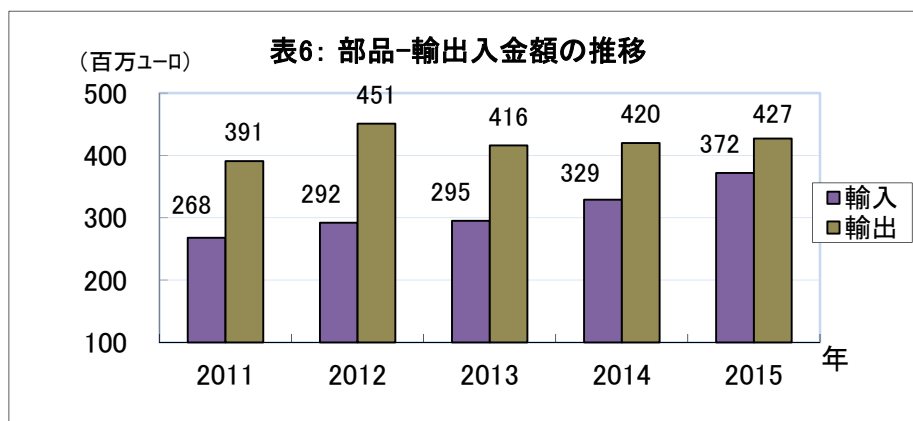
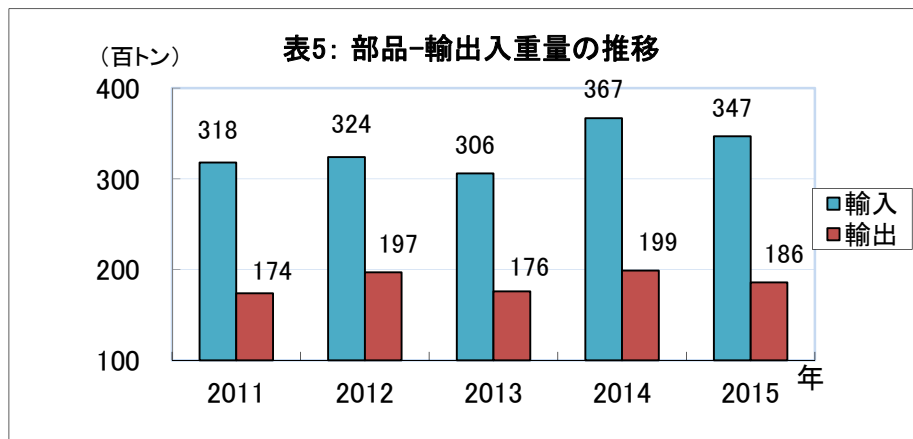
## 2. 輸出入

EPAC を除く自転車の 2015 年輸出台数については、前年比 20.9%減の 140 万台となり、減少に転じた。2015 年の輸入台数も前年比 4.4%減の 65 万台とわずかに減少し、自転車の輸出入台数は共に前年より減少する結果となった。地域別輸出入では、全輸出の 98%が欧州向けである。輸入は 6 割強が欧州地域からであり、アジア地域から 1 割弱、その他からは 2 割程となっている。

自転車部品の輸出入について重量ベースで見ると、2015 年の輸出重量は前年比 6.5%減の 186 百トン、輸入重量は同比 5.4%減の 347 百トンとなり前年より減少したが、金額ベースでは、2015 年輸出金額は前年比 1.7%増の 427 百万ユーロ (491 億円)、輸入金額は同比 13.1%増の 372 百万ユーロ (429 億円)となり、部品の輸出入金額は前年より増加した。地域別の輸出入では、輸出の 9 割近くは欧州向けであり、一方、輸入は 6 割強が中国から、その他アジア地域からは 2 割弱、そして欧州からは 1 割強となっている。



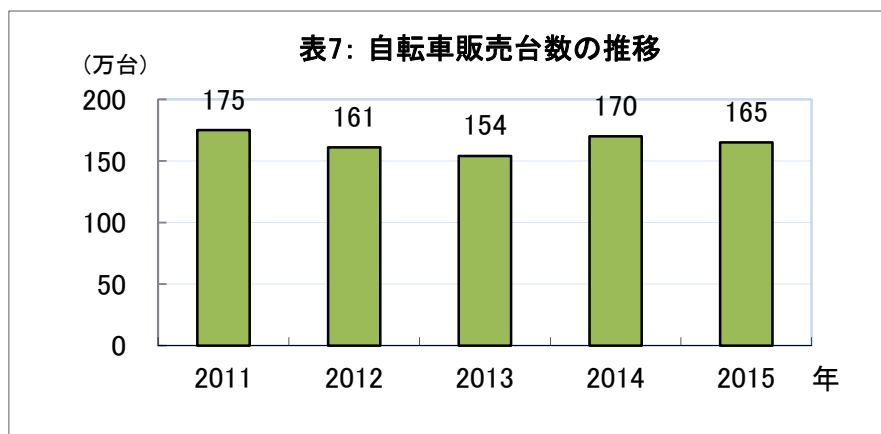
※上記数値は EPAC を除く



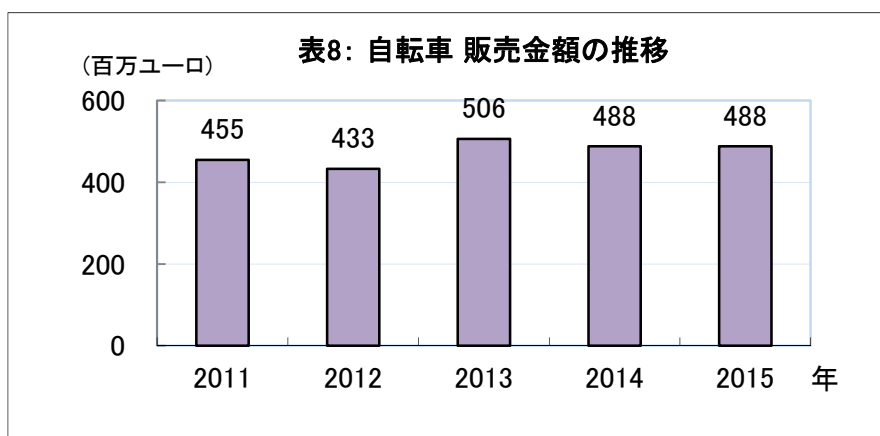
### 3. 販売

EPAC を含む自転車の 2015 年販売台数は、前年比 2.9% 減の 165 万台となり減少に転じた。しかしながら、自転車の販売金額では、2015 年は前年同額の 488 百万ユーロ (561 億円) を維持し、同国の自転車需要は底堅いと ANCMA は述べている。なお、2015 年の自転車の平均販売価格は前年と同じ 270 ユーロ (31,050 円) である。

業態別の販売比率では、2015 年の販売台数 165 万台のうち、約 100 万台は大型スポーツチェーン店や量販店が扱い、60 万台余りが自転車小売専門店となっており、インターネット等の通販は 3 万台前後にとどまるとみられる。



※上記数値は EPAC を含む



※上記数値は EPAC を含む

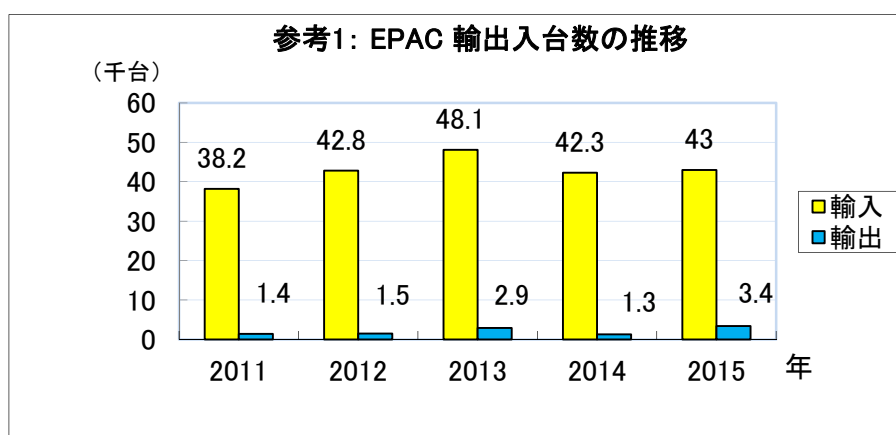
#### 4. 電動アシスト自転車 (EPAC)

電動アシスト自転車 (EPAC) の販売については、2015 年は前年比 9.8% 増の 56,189 台となった。現在、EPAC ブームの独蘭両国に比べイタリアの EPAC 販売の伸びは緩やかだった。しかし、ブームが始まったとされるフランスに続き、イタリアでもブームの兆しが見えてきたといわれる。その理由の一つとして、交通渋滞に見舞われる都市部において、自動車やオートバイに劣らない EPAC の加速性や機動性が有効であると認識され EPAC への注目が高まり、販売増につながったと ANCM は述べている。

表 9: EPAC 販売台数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015
販売台数(台)	45,000	46,000	51,405	51,156	56,189

なお、2015 年の EPAC 生産台数は前年より倍増の 16,600 台である。2015 年の EPAC 輸入台数は前年比 1.7% 増の 43,000 台と前年並みだが、輸出台数は輸入に比べ少ない数値ではあるが、前年より倍増の 3,398 台となった。従来、伊市場の EPAC は比較的安価な輸入車が主体であったが、近年は国内メーカーの EPAC も増え、ポッシュやシマノの STEPS 等の電動ドライブユニットを装着した国内ブランドの EPAC も見られるようになり、更には、より高額な電動マウンテンバイク (e-MTB) も扱われ、伊市場でも EPAC は今後、成長が期待されている車種となっている。



**参考2: イタリアブランドのEPAC(抜粋)**

ブランド	車名(車種)	電動ユニット	価格(€)
Atala	B-Rush SLS 27.5" (MTB)	Bosch(250W)	5599
Lombardo	E-Sempione 3.0 (MTB)	Bosch(250W)	4249
Wilier	Refill Man (トレッキング車)	STEPS(250W)	3998
Bottecchia	BE50 (MTB)	STEPS(250W)	2899
Carraro	121 E-nergy S 27.5" (MTB)	Bosch(250W)	-
Bianchi	E-Jab 27.5" FST (MTB)	Bosch(250W)	-
ITALWIN	Italwin Acqua (トレッキング車)	STEPS(250W)	-

※各社カタログ、ホームページより



**Lombardo**



**Wilier**

以上

統計出所：ANCMA、CONEBI（表3、表8）

写真：EUROBIKE2015にて筆者撮影